

1 スクールミッション

- (1)様々な生徒の多様なニーズに応じた「受け止め、支え、気づき・気づかせ、伸ばす」理念のもと「個別最適な学び」教育を行い、自信と自尊感情を育て、才能開花を支援し進路実現・自己実現ができる地域に開かれ信頼できる学校
- (2)Edtech を活用し修得主義と履修主義を適切に組み合わせ、探求的な学習を通して主体的・対話的学びを実践する全国を視野に置いた中学校・高等学校・大学・大学院につながる新たな通信制高等学校の創造

2 スクールポリシー

(1)アドミッション・ポリシー 受け入れる生徒像

- 現状に様々な課題を持ちながらも、少しでも変えていきたいという思いや意欲を持つ生徒

(2)カリキュラム・ポリシー 教育課程の基礎理念

- 時代と共に歩み、時代の要請と社会の変化に対応する斬新で独自性に富んだ、時代を創っていく教育
- 自己の未来デザインの形成と進路実現・自己実現をめざした教育
- Edtech を積極的に活用し学習の力を活かした多様なニーズの応じた多様な教育内容
- 向陽台コンソーシアムに基づく地域・関係機関との連携によるネットワーク型の教育

(3)グラデュエーション・ポリシー 目指す人物像

- 良識ある立派な市民として時代の変化に対処できる優秀な人材
- 自他の個性を認め合い、自ら一歩前に進める人物(目指す人物像)

3 経営計画推進理念

「人は新たに学ぶことによって創られる。そして時代が創られる。自らの改革なくして成長はない」

重点目標

- 1 生徒一人ひとりに応じた才能開花・学力向上と進路実現への支援
- 2 本人や保護者の思いに寄り添い自己実現を図る丁寧な指導・支援
- 3 広域通信制・単位制のソサエティ 5.0 時代の教育を目指し EdTech を活かした全国展開を図る質の高い教育の提供と実践の発信

目指す学校像

- 変化を怖れず次の時代に挑戦する学校
- 安全で安心できる地域に開かれた信頼される学校
- 中・高・大・大学院につながる新たな通信制高等学校

アクションプランにおける学校像

- 5つの学校像
- (1)学び直しにより自信と自尊感情を育て、個性を活かした心を育てる学校
 - (2)能力開花・才能開花に積極的にチャレンジしグローバル人材を育成する学校
 - (3)不登校生徒等全国の学びの場のない生徒への支援を積極的に展開する学校
 - (4)地域一体地域循環還元型教育を進め、地域創生に貢献する活動を積極的に行う学校
 - (5)通信制・単位制高校として共生社会の実現に貢献する教育を行う学校

(参考) 従来の本校の精神・目標等との関係

建学の精神 ①良識ある立派な市民の育成 ②時代の変化に対処できる優秀な人材の育成
教育目標 「社会で生きる力を育む。市民として社会に貢献できる確かな人物の育成、豊かな知性の育成」

⇒グラデュエーション・ポリシー

「自己の未来デザインの形成と進路実現をめざした教育を実践する」

⇒カリキュラム・ポリシー

教育方針 「時代と共に歩み、時代の要請と社会の変化に対応する斬新で独自性に富んだ、時代を創っていく教育をめざす」

⇒カリキュラム・ポリシー

目指す人物像「自他の個性を認め合い、自ら一歩前に進める人物」

⇒グラデュエーション・ポリシー

I 外的環境に対応した危機意識の共有と課題対応を迅速に図る学校づくり

(1) 全国通信制高等学校認証校として変化を怖れず次の時代に挑戦する学校

- ① 新たな特色ある取り組みの推進と EdTech をさらに活用した安定した向陽台高等学校づくり
- ② 学園の新中長期計画(令和3年からの5年計画)に基づく教育の質の確保と生徒増を目指した学校づくり
- ③ 新たな生徒層の獲得を視野に EdTech を活用した支える教育と才能開花を支援する教育に向けた各コースの見直しと社会資源の活用
- ④ EdTech を徹底的に活用した教育と相談体制等「受け止め、支え、気づき・気づかせ、伸ばす」教育の良さを融合させた向陽台教育実践の発信
- ⑤ 技能連携校での教育圏域の拡大・EdTech の活用による連携の更なる充実

(2) 安全で安心できる信頼される学校

- ① 外的環境の変化による生徒の減少に対応した教職協働による学校運営体制及び技能連携校との連携内容の検討・整理
- ② 進学や就職実績、資格取得の状況等獲得できる力の明示と出口の見える化を推進し他の通信制高等学校との違いを明確にする発信
- ③ EdTech 活用等本校の教育力の充実による学校力量の向上としての類型別カリキュラム等特色ある講座の発信による新たな生徒層の獲得・拡大と発信
- ④ 学びを止めない教育の推進と「向陽台コンソーシアム」による教育理念を共有した大学等関係機関との連携事業継続による地域連携の構築
- ⑤ 学校マネジメントの視点による教職協働の推進と学校基礎データの共有・保護・運用管理の明確化

II 学園及び本校の未来を託す人材の育成と学園・学校の良さの継承と充実・発展ための一体感のある機動的でフレキシブルな組織づくり

(1) 学校デジタル化のもと通信制高校の特徴を活かした指導力・授業力の教育力量を高めるチャレンジの支援とマネジメント力の育成

- ① 学校での育成観点の整理のもとチャレンジ力とプラス思考の積極的評価・支援と新たな人材評価育成制度の活用
- ② 信頼をベースにした若手・ミドルリーダーの積極的登用による人材育成・女性登用とマネジメント力の育成・向上人材育成
- ③ レポートのオンライン化等 Edtech 活用・オンライン発想に対応できる教科指導での人材確保とその登録・採用に係る安定した学園体制の構築
- ④ 多様なニーズに応じた受験指導に対応できる教科指導力と相談機能の充実によるカウンセリング・マインド力の向上
- ⑤ 進学・就職支援等より組織的な相談体制の充実に向けた体制づくり

(2) 学校デジタル化に伴う校務分掌組織の見直しと学校改革の組織的計画的推進

- ① Web 出願等教職協働による EdTech を活用した分掌の業務整理・情報管理力向上と次世代へのスムーズな移行に向けた体制整備
- ② 教員層の信頼に基づく役割分担と機能的・一体的・迅速的な組織体制構築と活性化
- ③ 横断的組織のプロジェクトチームを活用した中堅・若手による学校課題の解決に向けた学校改革の推進
- ④ 働き方改革に応じた教職協働によるオンライン等を活用した時代に応じた業務の見直しと展開事例の積極的発信
- ⑤ 本校と技能連携校間でのより一層の EdTech 活用及び連携関係の強化と教育圏域の拡充ビジョンの作成・実行

III EdTech を活用した全国展開をも視野においた学校づくりと「向陽台マン」の実現

(1) 時代に挑戦する学校の特色づくりと学校デジタル化推進

- ① GoogleWorks の徹底活用による学校デジタル化とオンラインコースを活用した全国展開を図る新たな特色ある向陽台高等学校づくり
- ② 中期経営期計画(5年計画)に基づく学校づくりのなかでの通信制と全日制を活かした教育体制の検討
- ③ EdTech を最大限に活用した主体的に学ぶ生徒層を対象とした次の時代に対応した「学習者主体」の教育内容の構築
- ④ 学習者主体の教育と支える教育と才能開花を支援する教育に向けた「21世紀の教育」を視野に置いたコースの再編・モデルカリキュラムの作成と発信
- ⑤ 「向陽台コンソーシアム」による関係機関との連携したキャリア教育の推進と技能連携校との EdTech 活用による関係の強化及び教育圏域の拡充

(2) EdTech 活用等学校デジタル化の推進と「向陽台マン」に向けた取り組み

- ① GoogleWorks を徹底活用したオンラインでの取り組みとその成果を学園 LMS を活かした教育実践と各校の特徴の共有。
- ② 中学校、高等学校、大学、大学院へとつながる「22世紀の教育への挑戦」を視野にした通信制教育体制の検討
- ③ 入試広報における Web 出願の導入等連携の模索と進路指導におけるオンライン活用と連携の検討
- ④ 「受け止め、支え、気づき・気づかせ、伸ばす」理念の「生徒に寄り添う教育」の良さを大切にし「学びを止めない学習者主体の教育」の特徴を活かしたオンラインと実体験を組み合わせたカリキュラム作成の検討と教育実践の展開
- ⑤ 教職協働による学園ホームページと連携した向陽台ホームページの作成と充実

IV EdTech を徹底活用した多様なニーズに応じた教育「生徒に寄り添う教育」「学びを止めない教育」「主体的学習を支える教育」を充実させ 21 世紀の「未来の教室」を目指し「学校力量」を高める

(1) 学校デジタル化のなか多様なニーズに応じた ICT 活用による学び直しとチャレンジ精神を高める授業実践力の向上

- ① GoogleWorks の活用による学校デジタル化のなかでの個別最適化の指導と学習力の活用
- ② 双方向の学習アプリ等を活用した授業や教育相談の実施による本校の教育の特色の明確化
- ③ 学校クラウドの検討・作成を通じた教育クラウドプラットフォームを活用した主体的学習の可能性の検討

(2) オンラインも活用したキャリア形成・就労支援への指導力向上と相談におけるコミュニケーション力も含むカウンセリング・マインドの育成

- ① 各コースの特徴の明確化と大学進学と就職に向けた進路指導の特徴コースに応じた次の時代を見据えた指導内容の検討及びコースの整理と再編
- ② 丁寧な教育相談に向けた教育相談体制の整備と双方向アプリの積極的な活用による組織的な相談体制の充実
- ③ 90 単位を視野に多様な生徒のニーズに応じた社会的スキル指導講座や学校設定教科等を活用した特色ある講座等モデルカリキュラムの作成と具体化

V 「向陽台コンソーシアム」に基づく関係機関等と連携したキャリア教育の実践や特色ある教育の積極的な広報・発信

(1) 教育理念異基づく学校力量を高める外部機関等との教育連携の一層の推進

- ① 不登校生徒を対象とした義務教育段階からの市町村連携モデルの実施と中学・高校・大学・大学院へとつながる通信制を活用した教育の共同研究
- ② 次の時代のニーズを満たす「e-スポーツ」や「ドローン」、「ロボット」等での事業所と連携した学外学修の推進と特色ある講座設置
- ③ ガンバアカデミーや才能開花を図る関係機関と連携した人間教育の充実
- ④ 心理面で課題のある生徒への難関大学進学と基礎学力保障を図る民間との連携による「向陽台指導」の確立と摂陵指導法の融合
- ⑤ 22 世紀型教育での EdTech を活用した通信制高校の可能性を探る大学等研究機関との連携事業の実施と研究校指定の獲得

(2) 本校の社会的意義・役割の周知と協力関係の構築を目指す HP の充実と SNS 等を活用した本校の特色ある授業や行事等 Web 発信の拡充

- ① 文科省委託事業「多様性に応じた新時代の学び充実支援事業」「パナソニック奨励研究」「放送教育研究」等の研究実績の発信と外部機関等との共同研究による VR 等 ICT 活用によるモデルカリキュラムの作成・発信
- ② ササエィ 5.0 の新たな社会を視野に学校デジタル化での実践や「地域一体地域循環還元型教育」やインクルーシブ教育による「共生教育推進モデル」等時代に応じた通信制教育ならではの教育実践の発信
- ③ マスコミ・府内公立学校・保護者・地域等の通信制高等学校の既存イメージの変革に向けた継続的な発信の検討

(3) 技能連携校との組織的連携関係の充実

- ① EdTech 活用による学び直しと自尊感情を育てる教育の展開
- ② 「地域一体地域循環還元型教育」の実践例とキャリア形成・就労支援での事例研究
- ③ 向陽台総合学院との指導体制の再検討と生徒募集への対応

4 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	参考（令和5年度まとめより）
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">外的環境に対応した危機意識の共有と課題対応を迅速に図る学校づくり</p>	<p>(1) 全国通信制高等学校認証校として変化を怖れず次の時代に挑戦する学校</p> <p>ア 学校デジタル化を更に進めると共に Edtech を活用した新たな特色ある取り組みの推進</p> <p>イ 個別最適化の学習を基に新たな生徒層も視野に置いた各コースの見直しと向陽台教育実践の発信</p> <p>ウ 技能連携校との連携ビジョンの作成とシステム移行の完成及び EdTech の更なる活用</p> <p>(2) 安全で安心できる信頼される学校</p> <p>エ 「向陽台 GrowUpProgram」をもとに「個別最適化の学習」に向けたオンライン受講登録や Web 出願等を活用した体系化した教育実践の発信</p> <p>オ 向陽台コンソーシアムによる連携強化と深化</p> <p>カ 生徒数状況、進路実績、開講講座数等学校基礎データの共有と適切な発信及び管理</p>	<p>(1)</p> <p>ア 学校デジタル化を進め、GoogleWorks 等でのタブレット等を活用したレポートのオンライン活用事例の共有、資料のペーパーレス化と情報共有、保護者等との連絡・周知のオンライン化</p> <p>イ Edtech 活用を工夫した教育実践の発信と生徒ニーズに応じた各コースの見直しによる対応策の検討</p> <p>ウ 技能連携校との連携将来ビジョンの作成と連絡・報告のオンライン活用等 EdTech の活用、通信教育規定の順守確認</p> <p>(2)</p> <p>エ ガイドライン認証校としてオンラインとリアルのバランスを考えた教育実践例の情報発信とホームページ・SNS を活用した実践紹介</p> <p>オ 大学法人等との連携の拡大と深化</p> <p>カ 「向陽台基礎データ」として学校デジタル化のもと学校として、事務室と分担しまとめ、共有する。</p>	<p>(1)</p> <p>ア レポートのオンライン化学校デジタル化の進捗。学校評価「本校の教育方針・理念の理解し共有している」達成度 55%以上</p> <p>イ アプリを活用した教育実践のまとめと発信。各コースの特色と無償化に対応したコース編成の具体化と将来構想案 学校評価「生徒や保護者のニーズに応じた教育活動」「他校にない特色ある教育活動」達成度 80%以上</p> <p>ウ 技能連携校との連携ビジョン案と教務システム移行の完成。通信教育規定の順守とオンライン活用による業務のシンプル化度</p> <p>(2)</p> <p>エ Edtech 活用や体験学習での特色ある教育実践や事例、ブログ等学校紹介の発信。 学校評価「ホームページで可能な範囲で情報公開している」達成度 80%以上 学校評価「生徒の実態を踏まえ指導方法や学習形態の工夫・改善」達成度 80%以上。「本校の教育課題について教職員で日常的に話し合っている」「研修・研究に参加した成果を他の教職員に伝える機会」での情報共有、研修等の役割で両項目の達成度 60%</p> <p>オ 大学法人等との具体的連携の進展と関係機関との連携による実践</p> <p>カ 「学校基礎データ」のデジタル化による管理体制の明確化とテックネット等での共有</p>	<p>(1)</p> <p>ア iPad を活用しレポートのオンライン化約 70%会議資料 iPad によるペーパーレス化は定着。 レポートオンライン化に関するオンライン研修・オンライン教材作成。Web 出願は教職協働で初年度 97%強達成等学校デジタル化は確実に進む</p> <p>イ 学年相当制の体制の土台ができてきた（△）コースについては進学アドバンスコースのカリキュラムの具体化を図る（○）今後、コースの充実とネットワークとの連携を更に進める。（昨年度比 6.5%増）（◎）</p> <p>ウ 技能連携校との連絡・報告のオンライン活用は定着。総合体育大会・全国総合文化発表会等行事を実施した。e-スポーツ大会は定着（○）関係技能連携校の学校協議会・役員会で通信教育規定順守及システム変更の実施を伝達（△）次年度確実に達成必須。</p> <p>(2)</p> <p>エ GoogleWorks 等による連絡は定着している。今後、保護者との連絡メールによる徹底を図る・・・</p> <p>オ ホームページを改編し、通信教育計画等を記載（○）SNS の活用した実践紹介は継続検討。カ「向陽台基礎データ」として生徒数、コース別生徒数等基礎となるデータの共有が教職協働行う。本校での教務システムとの連携が進む（○）技能連携校とのシステム連携が進まず（×）継続して、基礎データの集約と教務システムでの管理体制等の検討が必要。次年度の課題（△）。</p>
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学園・学校の良さを継承と充実・発展のための一体感のある機動的で柔軟な組織づくり</p>	<p>(1) 学校デジタル化のもと通信制高校の特徴を活かした指導力・授業力の教育力量を高めるチャレンジの支援とマネジメント力の育成</p> <p>ア Edtech やオンラインを活用した受験指導を含めた工夫した教科指導体制の構築</p> <p>イ 多様なニーズに応じた相談機能体制の充実</p> <p>ウ 人材評価制度の育成活用と学校運営でのマネジメント力の育成</p> <p>(2) 学校デジタル化に伴う校務分掌組織の見直しと学校改革の組織的計画的推進</p> <p>エ Web 出願の定着と学校デジタル化を進める教職協働による情報管理・情報共有</p> <p>オ 学校課題の解決に向けた向陽台学校運営での若手メンバーの活性化</p> <p>カ 技能連携校の教務システムの移行完成と Edtech 活用の推進と業務の整理及び関係技能連携校への拡充</p>	<p>(1)</p> <p>ア レスポンスコレクターの活用等 Edtech を活かした教科指導の実践例の発信と共有</p> <p>イ 生徒のニーズに応じた教育相談や進学・就職等の相談体制の検討とオンライン等の研修実施と活用事例</p> <p>ウ 育成の観点に基づく面談等の実施と意欲等評価を反映した案の提示</p> <p>(2)</p> <p>エ Web 出願の定着と充実に向けたと学校事務との連携によるデータ管理と活用</p> <p>オ 学校課題や通信制高校の課題へ横断的なプロジェクト組織による対応と OnTheJob による人材育成</p> <p>カ 技能連携校の教務システム移行の着実な実施と技能連携業務のシンプル化とガイドラインを踏まえた対応の実施</p>	<p>(1)</p> <p>ア 各教科におけるレスポンスコレクターの活用事例と教科の開講バランスの改善の工夫と専任教員数・常勤講師の確保及び計画案提示</p> <p>イ 学校評価「校内研修を企画・運営する組織が確立し計画的に研修が実施されている」での達成度 50%以上 学校評価「研修・研究に参加した成果を他の教職員に伝える機会が設けられている」での達成度 50%以上</p> <p>ウ 令和7年度教職員体制での登用及び評価制度の現場に即した対応。 学校評価「教職員は職場全体の中で自分の役割を認識し行動している」達成度 70%以上</p> <p>(2)</p> <p>エ Web 入試の実施と入試業務の整理。 学校評価「事務職員との相互理解・連携」達成度 65%以上</p> <p>オ 将来展望に基づく案の学校経営への反映を図る。学校評価「日々の教育活動における問題意識や悩みについて気軽に相談しあえるような職場の人間環境ができていく」達成度 70%</p> <p>カ 技能連携部業務の整理と新システムへの移行の完了。ガイドラインに対応した技能連携校との連携実績</p>

<p>Edtechを活用した全国展開をも視野においた学校づくりと「向陽台ロマン」の実現</p>	<p>(1) 時代に挑戦する学校の特色づくりと学校デジタル化推進 ア Googleworks を徹底活用したオンラインでの取り組みの具体化 イ 「21 世紀の教育」を視野に置いた多様なニーズに応じたコースの再編・モデルカリキュラムの作成と発信 ウ 「向陽台コンソーシアム」による関係機関との連携したキャリア教育の推進</p> <p>(2) Edtech 活用等学校デジタル化の推進と「向陽台マン」に向けた取り組み エ 本校の教育理念のもと「学びを止めない学習者主体の教育」でのオンラインと実体験を組み合わせた教育実践例とカリキュラム体系の検討</p> <p>オ GoogleWorks を徹底活用したオンラインでの取り組みと Edtech 活用の教育実践の成果をまとめ、本校特色としてホームページで発信する。</p>	<p>(1) ア Googleworks を徹底活用しオンラインレポートをより一層活用した指導方法や対応を確実に進めると共に生徒連絡、欠席連絡、保護者との連絡等での活用を着実に進める イ 「向陽台 GrowUpProgram」を基にオンライン等をも活用した多様なニーズに対応した基礎と専門等に応じた具体的なカリキュラム案とコース再編を進め個別最適な学びモデルの発信 ウ 委託研究の受託と茨木市教委と連携し「令和の時代の新たな教育」を視野に生徒の多様なニーズに応じ工夫した Edtech を活用した「向陽台キャリア教育モデル試案」作成</p> <p>(2) エ EdTech 活用を更に推進し、実体験とオンラインのバランスを考えた教材と生徒の興味関心を高め学習ログにつながるレスポンスコレクターを活用した指導方法の展開 オ プロジェクトを中心に Googleworks の活用事例の紹介、研修会、報告など研修機会の提供と周知徹底を図る。</p> <p>*文科省委託事業「通信制高校における多様性充実支援事業」の検討</p>	<p>(1) ア オンラインレポートの指導方法での活用例の明示と保護者等への Googleworks の活用と教職協働での業務内容整理とデジタル化の進捗。 学校評価「教員と事務職員の情報交換の機会があり、相互理解、連携が行われている」達成度 45%以上 イ 各コースの特色及び内容整理の具体案提示。学校評価「意見対立がある場合相手の意見を尊重し・・・」達成度 60%以上 ウ 委託研究の実施と多様なニーズに応える生徒の興味関心を高める「向陽台「キャリア教育モデル」案の提示</p> <p>(2) エ オンラインレポート等オンラインを活用できる教員 85%以上及び学校評価「「わかる授業」を目指し授業の組み立て等の準備を十分にしている」90%以上 オ 研修の実施、活用事例のオンラインでの提供及びホームページ等での発信 学校評価「教職員は職場全体の中での自分の役割を認識し行動している」70%以上</p>	<p>(1) ア 欠席連絡等をより進展させるために保護者のメールアドレスでの連絡も行うよう準備している。(○)教職協働で対応する必要がある。 イ 進学コースの充実を図りながら進学アドバンスコースに向けた具体的なカリキュラムを検討(△)コース再編について今年度の入学状況を分析のうえ、教職希望コース等再度コースの方向性を確認して授業料無償化完全実施の令和8年度にむけて再編する ウ 多様なニーズに応じた取り組みでの異世代交流を活用した実践について文科省の見学があり向陽台高校の教育実践への好評価を得た。</p> <p>(2) オ Gworks 活用プロジェクトを中心に連絡・授業等での方法・活用事例の紹介、研修会、報告などSNSを活用したオンラインと職員会議で行い、周知徹底を継続的に取り組んだ。理解が促進された。今後、事例等のまとめが必要。</p>
<p>EdTech を徹底活用した多様なニーズに応じた教育「生徒に寄り添う教育」「学びを止めない教育」「主体的学習を支える教育」を充実させ21世紀の「未来の教室」を目指し「学校力量」を高める</p>	<p>(1) 学校デジタル化のなか多様なニーズに応じた ICT 活用による学び直しとチャレンジ精神を高める授業実践力の向上 ア 学校デジタル化のなかでの個別最適化の指導と学習ログの活用 イ 双方向学習アプリやメディア教材等を活用した授業の発信や教育相談での活用による本校の指導特色の発信</p> <p>(2) オンラインも活用したキャリア形成・就労支援への指導力向上と相談におけるコミュニケーション力も含むカンセリングマインドの育成 ウ 各コースの内容と特徴の明確化と類型別モデルカリキュラムの発信 エ 丁寧な教育相談に向けた教育相談体制の整備による組織的な相談体制の構築 オ 特色のある講座等を活用したモデルカリキュラムの作成と発信</p>	<p>(1) ア レスポンスコレクター等学習動画視聴支援ツールを活用した実践と受講登録や Web 出願を含めた学習ログの活用を検討 イ オンラインでの指導を視野に各教科でのメディア教材等の整理、指導例と相談等も含めた双方向アプリの活用の検討の発信</p> <p>(2) ウ 生徒ニーズに応じた指導体制の具体化と類型別モデルカリキュラム「向陽台 GrowUpProgram」を基に発信オンラインとリアティのバランスを配慮した生徒のニーズに応じたコース案作成と進学コースと「ニュートンクラブ」と連携・活用した大学進学指導体制 エ 学校全体での教育相談体制の在り方等の業務内容の整理と学校運営組織での位置づけの明確化 オ 特色ある講座を活かしたオンラインも活用したカリキュラムモデルの検討・発信と取得資格等の例示の発信。</p> <p>*「レスポンスコレクター」(Response Collector) 授業の充実と学習ログによる個別最適化の学びへの支援ツール。反転授業の事前学習動画視聴システム。豊橋技術大学内山慎太郎氏より紹介されたもの。</p>	<p>(1) ア 各教科でのレスポンスコレクターの指導実践例と学校評価「生徒の実態を踏まえ指導法や学習形態の工夫・改善を行っている」達成度 70%以上及び「わかる授業を目指し準備をする」達成度 90%以上 イ 各教科のメディア教材の整理とまとめと相談におけるアプリ活用例。 学校評価「教科指導において視聴覚機器や情報機器が積極的に活用されている」達成 70%以上。生徒評価「授業の教え方で様々な工夫をしている先生が多い」85%以上</p> <p>(2) ウ 「向陽台 GrowUpProgram」の入試広報も含めた活用度と各コースの整理案と進学にかかるコースカリキュラムの具体化 エ 学校としての相談体制の位置づけと整理。生徒評価「先生は生徒の悩みや相談に丁寧に対応してくれる」満足度 80%以上 オ 生徒評価「私は向陽台高校での生活に満足している」及び「本校には自分が学びたいと思える講座が多数ある」生徒満足度 80%以上。 学校評価「本校には 他校にない特色ある教育活動が行われている」達成度 80%以上</p>	<p>(1) イ 各教科で ICT 活用は進んでいる。メディア教材等の整理とまとめは発信できるよう引き続きの課題(△)進路部等アプリ活用例のもあり、教育相談等生徒支援につながる工夫をさらに進める(○)</p> <p>(2) エ オンラインとリアティのバランスを配慮した生徒のニーズに応じたコース内容を継続して検討。類型化カリキュラムとして「向陽台 GrowUpProgram」案「を作成した。更に検討を加え向陽台の教育の可視化を図る。募集に活用する(○) オ 学年担当制における教育相談体制の在り方について引き続き検討(△)本校について説明できる教員を確保して入学相談、進路相談等相談体制の構築を図ることが次年度の大きな課題である。 カ 特色ある講座を活かした類型別カリキュラム案に反映。特色ある講座のオンライン化や取得資格等の例示を行う。次年度、神戸親和大学と高大連携科目を実施する。</p>

<p>「向陽台コンソーシアム」に基づく関係機関等と連携したデジタル教育の実践や特色ある教育の積極的な広報・発信</p>	<p>(1) 教育理念異に基づく学校力量を高める外部機関等との教育連携の一層の推進</p> <p>ア 学外学習の推進と特色ある講座の体系化</p> <p>イ 中学・高校・大学・大学院へとつながる通信制の検討</p> <p>(2) 本校の社会的意義・役割の周知と協力関係の構築を目指すHPの充実とSNS等を活用した本校の特色ある授業や行事等Web発信の拡充</p> <p>ウ 外部関係機関等の委託研究等の活用による教育実践のまとめ・発信</p> <p>エ 通信制高校の特徴を活かした学校デジタル化の推進と実践事例の発信</p> <p>(3) 技能連携校との組織的連携関係の充実</p> <p>オ EdTech活用による学び直しと自尊感情を育てる教育実践の共有</p> <p>カ 向陽台総合学院との技能連携体制の再検討</p>	<p>(1)</p> <p>ア 特色ある講座の開設と体系化による指導段階等カリキュラムの明示</p> <p>イ 将来像に基づくコース再編等の検討・提示し運営会議で継続的に協議し学校再編イメージ案を作成。大学法人等積極的に関係・連携方法等の具体化を図る。</p> <p>(2)</p> <p>ウ 研究実績や学校紹介等の学校HP・SNS等での効果的な発信方法の検討</p> <p>エ 通信制教育の特徴を活かした教育実践の事例集積と校内研修会等を通じた共有及び効果的な発信の検討</p> <p>(3)</p> <p>オ 技能連携校協議会や教務部等担当者研修等各研修会での事例紹介とGoogleWorks等を活用した教育実践等指導ノウハウの共有</p> <p>カ 技能連携校としての総合学院に対する本校の指導体制等、本校の現状に即した具体的な対応策の検討と作成</p>	<p>(1)</p> <p>ア 実践事例の集積とまとめの作成。生徒評価での授業や講座開設、学校の特色に関する項目での満足度80%以上</p> <p>イ 向陽台ビジョンとして職員会議等での提示。大学法人等連携の具体化</p> <p>(2)</p> <p>ウ 研究実績の発信や学校HPでの掲載及びSNS等を活用した行事等学校紹介の掲載</p> <p>エ 近通研等各種研究会での発表及び学校HP等での事例紹介</p> <p>(3)</p> <p>オ 教育実践事例の技能連携協議会での事例紹介の事例とGoogleWorksやレスポンスコレクター等での活用事例の紹介。資料でのノウハウの掲載及び各技能連携校からの事例紹介</p> <p>キ 今後の動向も踏まえた本校の現状に即した指導連携体制案</p>	<p>(1)</p> <p>ア・・・地域の高齢者の参加を得た異世代交流も実施・・・</p> <p>イ 向陽台マンとして多様なニーズに応じた受け止め支え気づき気づかせ伸ばす教育として向陽台の教育力量を伸ばす大学との教育連携を進めることを検討・提示。神戸親和大学と協定を結ぶ(○)教育理念を共有できる大学との連携を進めていく</p> <p>(3)</p> <p>オ 技能連携校の理事、校長・主事・・・通信教育規定の改正を受けたが、トレーニングの周知と新システムへの対応依頼。神戸親和大学との協定を伝え本校だけでなく高等専修学校での進路の拡充を図った。(○)技能連携校からの高評価を得ることができた。</p> <p>キ 集中スクリング方式での指導体制となるが、生徒の出席状況等の影響もあり本校「スクリング」での対応した生徒もある。本校教員数の状況もあり教員の指導体制が取れない現実が継続している。3年目の総括として募集人員を満たさない状況が続いている現状と当初の目標とした各種学校ICTモデル校とは違う学校実態となっていることや予算上の問題を踏まえ令和5年6月に前理事長に校長としての総括を報告した。(△)</p>
---	---	--	---	--